

貞松院だより

平成27年
12月28日

○貞松院はどんなお寺？

迎冬山貞松院月仙寺は、初めは天台宗の寺院でしたが、江戸時代初めの文禄二年（一五九三）に無哲上人によって天台宗から浄土宗の寺院となり、開山当初は慈雲院と称していました。

正保二年（一六四五）初代諏訪藩主・頼水公夫人の貞松院院殿（忠恒の生母）の没後、二代藩主で息子の忠恒が、熱心な念佛信者であった母の遺言を重んじ、廟所を慈雲院に建て、供養のために伽藍を修復、寺領四〇石と広大な山林を寄進しました。そして母の戒名である貞松院殿に因んで寺号を慈雲院から貞松院と改めました。

天和三年（一六八三）諏訪に配流されていた徳川家康公の六男・松平忠輝公が九十二歳で没し、生前の当山との縁により貞松院に葬られました。

その後五代將軍綱吉から御朱印三〇石の寄進を受け、以後徳川將軍家の菩提寺の一院となり、諏訪地方唯一の御朱印寺、藩主独礼、触頭（筆頭寺院）として栄えました。

忠輝公の遺品（乃可勢の笛、古九谷大皿、茶道具等）、貞松院殿の遺品（天児、膳一式等）、諏訪家からの寄進（屏風絵等）など数多くの寺宝を所蔵しています。

また境内には家老二之丸家諏訪頼雄夫人、藩祖頼忠の子や忠晴の息子・政太郎（城向き地蔵）、忠虎、忠肅らの歴代藩主の子らも葬られており、諏訪家との関係の緊密さを示しています。

○寺宝・古九谷大皿特別展示

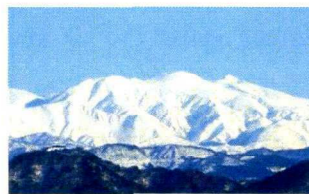
先般、長野日報にも紹介されましたが、忠輝公遺品の「古九谷大皿」が十月三日～二十八日一月三十日まで、石川県加賀市にある九谷焼美術館にて特別展示されています。

北陸の霊峰・白山が描かれている古九谷はこの一枚だけで、江戸時代の所有者を特定でき、制作下限年代が確定できる作品は他にはなく、そのことから美術的、歴史的、史料的に大変貴重な作品とされています。

十月十六日には、北陸朝日放送の「週間」チャンネルの番組内でもこの特別展が紹介され、貞松院の様子や住職のインタビューが放映されました。石川県の方にも忠輝公と貞松院を知っていただくきっかけとなりました。



古九谷大皿



冬の白山

○「真田丸」関連特別展示について

昨年の上越市、今年に加賀市での寺宝の展示に引き続き、来年の大河ドラマ「真田丸」に関連する特別展「戦国の絆」が長野市松代の真田宝物館で開催され、忠輝公の宝物が展示されます。

忠輝公は松代城主（当寺は松城）をつとめ、大阪夏の陣にも参戦していることなどから、この特別

展に寺宝の展示依頼がありました。

今回は、忠輝公遺品の中から、乃可勢の笛・陣太鼓・陣羽織・肖像画が展示されます。

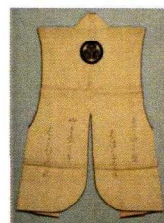
信州が舞台の大河ドラマということでも多くの来館者がおいでになることと思います。



乃可勢



陣太鼓



陣羽織

○貞松院主催寺宝展のお知らせ

昨年の十月一日放送のNHK歴史秘話ヒストリア「天下人・家康の息子達」で貞松院と忠輝公遺品の乃可勢の笛が紹介され、全国から多くのお問い合わせをいただきました。

また昨年の十月四日～十一月十六日まで、忠輝公が城主を務めた越後高田城開府四百年記念「越後の都・高田と徳川家康の血族」特別展が、新潟県上越市博物館で開催され、忠輝公の遺品十五点が展示されました。

このように昨年から各地で貞松院の寺宝の特別展が開催され、またテレビ放映などもあり、全国から寺宝公開のお問い合わせが多くまいるようになりました。

また、当山の増信徒の皆様でも菩提寺の寺宝を見たことのない方や、ご存じ無い方もおいでになります。菩提寺をより知っていただくために総代様と協議の結果、来春より寺宝の公開を決定致しました。

期日は来年四月の大社御柱祭が終わり、当山の諏訪市指定文化財の枝垂れ桜公開に併せて行う予定で公開日程が決まり次第お知らせします。

二代藩主お手植えの樹齢四百年の枝垂れ桜と寺町の景観とともに多くの壇信徒の皆様の御来寺を待ちしております。



枝垂れ桜(延命桜)



ライトアップされた桜と本堂

○境内整備についてのお知らせ

①山門前の駐車場の舗装

山門前の駐車場の舗装が経年劣化により水が溜まり、冬期に凍結し危険になってまいりました。また、駐車場入口も敷石が太鼓橋状になっており、同じく凍結し危険な状態になっておりましたので、駐車場を広くし、傾斜を設け冬期の除雪作業など行いやすくするため再舗装を行いました。

②山門及び石碑の整備

駐車場の舗装工事にあわせ、駐車場の奥にありました忠輝公墓碑の石碑を境内に移し、駐車しやすくしました。

江戸時代の二度の火災を逃れ、当山で最も古い建造物の山門ですが、大扉の蝶番が腐食し脱落

する危険性が出て来ましたので蝶番の金属金具を交換しました。また環貫棒も近日中に交換する予定です。

これにより安全にご参拝、拝観できるよう改修致しました。



山門前駐車場



移転した忠輝公石碑

③その他の整備について

①、②の改修が完了致しましたが、忠輝公側墓地入口の黒門のかさ上げ工事、高国寺との境にある木製の扉が腐食してききましたので付け替える工事を予定しております。その際には墓参等ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが協力お願い致します。

○案内看板の設置

境内には忠輝公墓所、貞松院殿墓所、諏訪家関係の墓所、諏訪家藩医・井手家墓所、城向き地蔵、世外句碑、徳本上人名号碑など歴史的な墓所等が点在しております。

現在一部簡易的な案内板を設置しておりますが恒久的な案内表示板を設置し、壇信徒また、拝観者の方が来寺の際、関心をもっていたけるような案内表示板を設置します。

○貞松院ホームページの活用

貞松院のホームページを(<http://teishoin.jp>)開設致しました。多くの方にご覧いただき、また問い合わせも頂戴しております。今後とも素早い情報を壇信徒、また貞松院に興味のある方々にお知らせ致します。

まだ貞松院ホームページをご覧いただいて無い壇信徒の皆様には是非一度ご覧いただけたら幸いです。

◆年末行事予定

①二十七年第三回総代会

十二月二十六日(土)に今年度の最終総代会を開催しました。会議では二十七年の事業報告、委員会報告、会計報告、監査報告、新年度の事業等を協議し承認しました。

②佛名会一千礼拝行

毎年行っており、今年も十二月二十七日に厳修いたしました。

南無阿弥陀佛とお唱えし、五体投地を千回繰り返す礼拝を行い一年の内に知らず知らず重ねた罪障を懺悔し、新しい年を迎える行です。

当日は出入り自由で普段見ることの出来ない僧侶の本格的修行の一端を壇信徒・一般の方にご覧いただきました。

③除夜の鐘

新しい年を迎える除夜の鐘を十一時四十五分頃より打ち始めます。貞松院、法光寺、正願寺、高国寺、教念寺の近隣の六ヶ寺の除夜の鐘が響きます。